

景 観 計 画 書
(雷門通りにおける建築物の建築等)

当該行為における景観形成に関する考え方	
記載欄	
(1) 配置	
<input type="checkbox"/>	敷地内やその周辺に歴史的・文化的な資源（祭りの場など）や残すべき自然などがある場合は、これらを活かした配置となるよう配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	駐車場、駐輪場や設備は、通りから見えない位置に配置する。やむを得ず、通りに面する場合は、植栽や目隠しなどによって、目立たせないように配慮する。 記載欄
(2) 高さ・規模	
<input type="checkbox"/>	雷門通りから見える建築物は、周辺建築群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。 記載欄
<input type="checkbox"/>	雷門通りの主要な交差点からの見え方に配慮する。 記載欄
(3) 形態・意匠・色彩	
<input type="checkbox"/>	建築物等の形態・意匠は建築物全体のバランスだけでなく周辺建築物等との調和を図る。 記載欄
<input type="checkbox"/>	周辺に歴史的・文化的資源がある場合は、これらを生かし、調和を図るよう配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	雷門通りに面する建築物の低層部にある店舗等は、内外の活動が相互に見えるよう工夫するなど、可能なかぎり屋内外の一体性や連続性を持つよう配慮する。 記載欄
<input type="checkbox"/>	建築物に附帯する屋外設備や階段等は、高層階や上空からの視線に配慮するとともに、通りから見えない位置に配置する。やむを得ない場合は、建築物と一体的な意匠とするか、ルーバーや緑化などにより修景するなど、周囲から目立たない工夫を施すなど建築物本体や周辺との調和を図る。 記載欄

<input type="checkbox"/> 建築物等の色彩や素材は、次の事項に適合するとともに周辺との調和を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁の素材は、耐久性があるものを積極的に使用し、光沢があるものは控える。 ・ 地域で親しまれている色彩の活用に努める。 ・ 外観の色彩は、別表に定める基準に適合するものとする。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> エリア内にある景観まちづくり協定の区域に該当する場合は、その協定の内容に沿ったデザイン <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩を最大限尊重する。 <p>記載欄</p>
<p>(4) 公開空地・外構・緑化等</p>
<input type="checkbox"/> 外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺のまち並みとの調和を図った色調や素材とする。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> 雷門通りに沿って変化する景観の魅力を増すよう、アイ・ストップとなる樹木を配置する等、変化と魅力をもつ景観形成を図る。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> 通り沿いにオープンスペース設置した場合は、賑わいの演出を図る。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> 高層階や上空からの視線に配慮し、できるだけ屋上緑化を図る。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> 雷門通り側に積極的に緑や花を植えることができる場所を設け緑化を図る。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> 緑地や植栽等に照明を設置するなど、夜間でも適度な明るさを確保するよう努める。 <p>記載欄</p>
<input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場の出入り口は、できるだけ通りから見えないように植栽等で修景する。 <p>記載欄</p>

上記以外で特に景観に配慮した事項